

○ 委員長報告

1 2月定例会本会議で報告された総務企画委員長報告は、以下のとおりです。

平成30年12月定例会

総務企画委員長報告

報告いたします。

当委員会に付託されました議案の審査結果は、お手元に配付されております委員会審査報告書のとおりでありまして、いずれも原案のとおり可決決定されました。

以下、審査の過程において論議された主な事項について、その概要を申し上げます。

まず第1点は、来年度当初予算の編成方針についてであります。

このことについて一部の委員から、知事公約の第3ステージへ対応する来年度当初予算編成に向けて、どのような方針で取り組むのかとただしたのであります。

これに対し理事者から、来年度当初予算は最優先課題である7月豪雨災害からの復旧・復興に取り組むとともに「防災・減災対策」「人口減少対策」「地域経済活性化対策」の重点施策を更に深化させることとしている。

また、依然として厳しい財政運営が予想されるため、より足腰の強い財政基盤の構築に向け、歳入歳出全般にわたる見直しを行うほか、スクラップ・アンド・ビルドの徹底により、限られた財源の効率的な活用を図るなど、積極的な施策展開と財政健全化のバランスに配慮しながらメリハリの効いた予算編成を進めたいと考えている旨の答弁がありました。

第2点は、障がい者雇用についてであります。

このことについて一部の委員から、障がい者を対象とする正規職員や臨時職員等の採用試験の応募状況はどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、正規職員については、申込み受付期間を12月19日までとしているが、11名程度の採用予定を既に上回る応募があり、競争試験を行うに十分な状況となっている。

臨時職員については、申込み受付期間を1月7日までとしており、12月12日時点で14名の応募となっている。また、非常勤職員については、12月12日の締め切りまでに研修所に3名、松山発電工水事務所に4名の応募があった旨の答弁がありました。

第3点は、移住・定住の促進についてであります。

このことについて一部の委員から、移住・定住を促進するには、愛媛にしかない魅力をPRしていくことが重要だと思うが、「愛顔のひめターン」を含

めて、移住促進にどのように取り組んでいるのか、とただしたのであります。

これに対し理事者から、「愛顔のひめターン」は、女性をターゲットに更なる移住者の上積みを図ろうとするもので、具体的には、首都圏のFMラジオ番組や移住専門誌のWebサイトで、愛媛の魅力や女性移住者を紹介しているほか、番組内で募集した移住体験者が感じた愛媛の魅力を番組やフェイスブック等で情報発信している。

また、昨年度から、「えひめ暮らし魅力体感ツアー」を実施し、移住希望者に自然や文化、生活、伝統産業など、本県魅力を体感していただく取り組みも進めている。

今後とも、愛媛の魅力発信を図りながら市町や移住コンシェルジュ等と連携し、移住者の呼び込みに努めていきたい旨の答弁がありました。

このほか、

- ・ふるさと納税
- ・税制改正要望に対する国の対応状況等
- ・サイクリングアイランド四国の実現に向けた取組み
- ・次期アクションプログラム
- ・地方版図柄入りナンバープレート

などについても、論議があったことを付言いたします。

最後に、請願について申し上げます。

当委員会に付託されました請願2件については、いずれも願意を満たすことができないとして、不採択と決定いたしました。

以上で報告を終わります。